

款	07	商工費	予 算 現 額	10,986,000 円
項	01	商工費	決 算 額	10,150,053 円
目	01	商工総務費	前 年 度 決 算 額	5,558,256 円
			対 前 年 比	182.6 %

I. 事務の目的体系

1	事 業 名	商工一般管理事業	コード	01	07	01	01	02	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基 本 施 策	02 商工業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	商工業者、職員
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	商工行政全般を円滑に推進できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	商工一般事務事業 (1) 産業立地に関する情報収集等のため、愛知県産業立地推進協議会に負担金を支払いました。 (2) 日進市、豊明市、長久手市、みよし市及び東郷町で構成する尾三商工研究会で情報交換を行いました。 ア 第1回 令和3年7月29日 イ 第2回 令和4年1月17日 (3) 8市町(大府市、豊明市、東郷町、みよし市、日進市、長久手市、瀬戸市及び尾張旭市)合同地元就職フェアを開催し、就労支援を実施しました。 ア 開催日 令和4年2月20日 イ 開催場所 ウィンクあいち							

5	指 標 名	地元就職フェア参加町内企業数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
			平成30年度	社 8.00	社	個別計画による目標値はありません。
	指 標 の 説 明 (指 標 式)	地元就職フェアに参加した町内企業数	令和元年度	社 6.00	社	
			令和2年度	社 5.00	社	
			令和3年度	社 6.00	社	
6	直接事業費計	前年度決算額	82,502 円	決 算 額	43,773 円	

款	07	商工費	予 算 現 額	112,832,000 円
項	01	商工費	決 算 額	93,048,729 円
目	02	商工業振興費	前 年 度 決 算 額	269,439,289 円
			対 前 年 比	34.5 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	文化産業まつり開催事業	コード	01	07	01	02	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	03 地域交流を促進する						
		施策の展開方向	③ 町民相互の絆を深める						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、事業者				
2	働きかける相手(対象)	来場者				
3	どのような状態に したいのか(意図)	町民の文化創造、町内の産業振興及び福祉の増進を図るとともに、賑わいとふれあいの場を創出します。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	文化産業まつり開催事業 新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 令和4年度の開催に向けて、来場者の皆様が安全に、安心して参加していただける、思い出となるようなイベントを開催するため、関係機関と調整を図りました。 (1) 幹事会 ア 令和3年6月23日 第39回東郷町文化産業まつりの実施について イ 令和4年3月(書面会議) 第40回東郷町文化産業まつりの開催案について (2) 関係機関との調整 東郷町商工会、東郷町文化協会、あいち尾東農協東郷支店、東郷町施設サービス株式会社等と随時打合せを行いました。				
5	活動指標	指標名	全事業数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
				平成30年度	事業 190.00	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	各部催事の計	令和元年度	事業 187.00	
				令和2年度	事業 0.00	
6	成果指標	指標名	来場者数	年 度	実 績 値	目 標 値
				平成30年度	人 18,000.00	人 20,000.00
		指標の説明 (指標式)	文化産業まつりの来場者数	令和元年度	人 18,000.00	人 20,000.00
				令和2年度	人 0.00	人 20,000.00
7	直接事業費計	前年度決算額	0 円		決 算 額	0 円

I. 事業の目的体系

1	事業名	商工関係事業	コード	01	07	01	02	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち 【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02 商工業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		商工業者、東郷町商工会及び町民					
2 働きかける相手(対象)		東郷町商工会					
3 どのような状態にしたいのか(意図)		商工業者の経営改善等が行われ、商工業の活性化が図られるようにします。また、東郷町商工会所有の街路灯を良好な状態に保ちます。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 商工会運営事業						
	(1) 東郷町商工会から令和3年度の事業報告がありました。						
	ア 一般会員数 679名						
	イ 事務局職員数 9名						
	ウ 経営指導員による指導件数 1,251件						
	エ 講習会等参加人数 198人						
	オ 金融斡旋件数 13件						
	(2) 東郷町商工会に対して運営事業費補助金を交付しました。						
	ア 補助対象経費						
	経営改善普及事業費 49,200,977円						
管理費 15,070,167円							
イ 補助金額 22,982,000円							
2 商工団体育成事業							
東郷町商工会に対して街路灯維持管理費補助金を交付しました。							
(1) 修繕件数 8件							
(2) 補助対象経費 608,762円							
(3) 補助金額 250,000円							
5 活動指標	指標名	経営指導員等による指導件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
			平成30年度	件 1,711.00	件	個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 (指標式)	経営指導員等による巡回指導、窓口指導した件数	令和元年度	件 1,434.00	件		
			令和2年度	件 1,837.00	件		
			令和3年度	件 1,251.00	件		
6 成果指標	指標名	一般会員数	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法	
			平成30年度	人 622.00	人 650.00	東郷町商工会の事業計画書に記載された数値	
	指標の説明 (指標式)	東郷町商工会に入会している会員数	令和元年度	人 623.00	人 650.00		
			令和2年度	人 658.00	人 650.00		
			令和3年度	人 679.00	人 680.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	22,084,000 円		決 算 額	23,232,000 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	小規模企業等振興事業	コード	01	07	01	02	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02 商工業を活性化する						
		施策の展開方向	② 中小企業等への支援						

II. (Do)一般事業の内容

1		誰のために(受益者)		小規模企業者				
2		働きかける相手(対象)		小規模企業者、金融機関				
3		どのような状態にしたいのか(意図)		金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者の方々が、事業上必要とする運転資金等の融通を円滑にし、その事業の振興を図ります。				
4		評価対象年度にどのようなことを実施したのか		小規模企業等振興事業 (1) 小規模企業等振興資金 ア 制度利用件数 14件 イ 貸付総額 64,400,000円 (2) 各種認定 ア セーフティネット 35件(4号:19件、5号:16件) イ 危機関連保証 11件 (3) 信用保証料・利子補給補助金 ア 小規模企業等振興資金 487,000円(11件) イ サポート資金(セーフティネット) 0円(0件) ウ 小規模事業者経営改善資金 48,000円(2件) (4) 小規模事業者持続化補助金 日本商工会議所が定める小規模事業者持続化補助金の交付を受けた商工会一般会員に対して、上乘せ補助を実施しました。 1,669,629円(12件)				
5		活動指標		指標名	信用保証料補助金額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
						平成30年度	円 1,076,000.00	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		小規模企業等振興資金及びサポート資金(セーフティネット)の信用保証料補助金		令和元年度	円 1,597,000.00	
						令和2年度	円 603,000.00	
						令和3年度	円 487,000.00	
6		成果指標		指標名	取扱金融機関による貸付金額	年 度	実 績 値	目 標 値
						平成30年度	千円 130,590.00	千円 104,490.00
		指標の説明 (指標式)		小規模企業等振興資金融資制度に基づく貸付金額		令和元年度	千円 144,000.00	千円 91,693.00
						令和2年度	千円 17,450.00	千円 122,927.00
						令和3年度	千円 64,400.00	千円 97,346.00
7		直接事業費計		前年度決算額		51,013,069 円	決 算 額	
							52,204,629 円	

I. 事業の目的体系

1	事業名	企業立地促進事業	コード	01	07	01	02	04	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02 商工業を活性化する						
		施策の展開方向	① 町内企業の拡張						

II. (Do)一般事業の内容

1		誰のために(受益者)	商工業者						
2		働きかける相手(対象)	商工業者						
3		どのような状態にしたいのか(意図)	東郷町都市計画マスタープランの既成市街地ゾーン(工業系)及び新市街地候補ゾーン(工業系)に工場を立地させ、産業の振興と雇用の拡大を図ります。						
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	企業立地促進事業							
		(1) 愛知県産業立地推進協議会が作成する愛知県産業立地ガイドブックに本町の案内記事を掲載しました。							
		(2) 企業訪問等を34社に実施しました。							
		ア 現況聞き取り、情報交換等 27社							
		イ 企業立地促進条例に基づく奨励金について等 4社							
		ウ ふるさと納税返戻品について等 3社							
		(3) 企業立地促進条例に基づく奨励金を交付しました。							
		また、奨励金の対象となる事業者に対して、申請事務の支援等を実施しました。							
		ア 工場等新設促進奨励金 1社 6,983,000円							
		イ 工場等増設促進奨励金 1社 379,000円							
ウ 雇用促進奨励金 1社 150,000円									
エ 敷地提供奨励金 14名 7,122,000円									
5	活動指標	指標名	訪問した企業数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値			
				平成30年度	社 9.00	社	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明 (指標式)	開発の意向のある企業や条例の適用となる企業を訪問した数	令和元年度	社 3.00	社			
				令和2年度	社 14.00	社			
				令和3年度	社 34.00	社			
6	成果指標	指標名	新しく誘致できた企業数(累計)	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法		
				平成30年度	社 5.00	社 6.00	令和2年度までは第5次総合計画による目標値(累計) 令和3年度以降は前年度実績値+1社を目標値とする。		
		指標の説明 (指標式)	企業立地促進条例を適用した企業数(事業数の累計)	令和元年度	社 7.00	社 6.00			
				令和2年度	社 7.00	社 6.00			
				令和3年度	社 8.00	社 8.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	6,232,000 円		決 算 額	14,634,000 円			

I. 事業の目的体系

1	事業名	移住支援事業	コード	01	07	01	02	05	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	04 まちの魅力の発信と交流人口・定住を増やす						
		施策の展開方向	③ 移住・定住の促進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、事業者
2	働きかける相手(対象)	町民(東京圏からの転入者)
3	どのような状態に したいのか(意図)	人口減少の時代において、東京圏からの移住者を呼び込むことで、町が活力を維持し持続的に発展し続けることを目指します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	移住支援事業費 東郷町内への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消に資するため、愛知県と共同して、東京圏から東郷町に移住される方を対象に、東郷町移住支援金交付要綱に基づき、支援金を支給する事業 令和3年度実績：0件							
---	-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--

5	指標名	支給件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成30年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
活動指標	指標の説明 (指標式)	移住支援金を支給した件数	令和元年度	件 0.00	件	
			令和2年度	件 0.00	件	
			令和3年度	件 0.00	件	
6	指標名	支援金対象の移住件数(累計)	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 前年度の実績値＋予算措置上の件数
			平成30年度	件 0.00	件 1.00	
	指標の説明 (指標式)	移住支援金を支給した移住件数の累計	令和元年度	件 0.00	件 1.00	
			令和2年度	件 0.00	件 1.00	
			令和3年度	件 0.00	件 1.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額	0 円	

I. 事業の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	07	01	02	06	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1		誰のために(受益者)	町民、事業者				
2		働きかける相手(対象)	事業者				
3		どのような状態にしたいのか(意図)	町民及び事業者を含め町が一丸となって新型コロナウイルス感染症対策を行うことで、本町での感染症発生を抑制します。また、コロナ禍においても町内の小規模企業者及び中小企業者が従前通り経営を継続します。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	新型コロナウイルス感染症対策事業 (1) 東郷町新型コロナウイルス感染症予防対策事業費補助金 新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた飲食店に対し補助金を交付しました。 ア 交付店舗数 39店舗 イ 交付金額 2,923,100円 (2) 町内飲食店に対し、緊急事態宣言等による営業時間短縮要請や愛知県感染防止対策協力金等について、郵送、町ホームページ、窓口等で案内を行い、町商工会と協力して申請の支援を行いました。 ア 郵送での案内回数 21回 イ 案内店舗数 90店舗 (3) 一次支援金や月次支援金、事業持続化給付金、事業復活支援金等について、町ホームページや窓口で案内を行い、町商工会と協力して申請の支援を行いました。 (4) ニューあいちスタンダードの認証について、飲食店に案内するとともに、認証を取得した店舗を町ホームページで紹介しました。 ・認証店舗数 105店舗 (5) 町内でデリバリーやテイクアウトを実施している店舗を町ホームページで紹介し、町内飲食店の利用促進を支援しました。 ・ホームページ掲載店舗数 28店舗					
5	活動指標	指標名	ニューあいちスタンダード認証店舗数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
				平成30年度	店	店	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	店	店	
				令和2年度	店	店	
				令和3年度	店 105.00	店	
6	成果指標	指標名	東郷町新型コロナウイルス感染症予防対策事業費補助金交付店舗数	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法
				平成30年度	店	店	予算措置上の件数
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	店	店	
				令和2年度	店	店	
				令和3年度	店 39.00	店 90.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	190,110,220 円		決 算 額	2,978,100 円	

款	08	土木費	予 算 現 額	89,608,000 円
項	01	土木管理費	決 算 額	80,961,964 円
目	01	土木総務費	前 年 度 決 算 額	87,880,361 円
			対 前 年 比	92.1 %

I. 事務の目的体系

1	事 業 名	土木行政一般管理事業	コード	01	08	01	01	02	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基 本 施 策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	職員、関係団体、町道等
3	どのような状態にしたいのか(意図)	土木関係事務を適切かつ効率的に処理するとともに、関係団体又は関係機関との連絡調整を行い、円滑に事務を行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土木一般管理事務事業 (1) 事務関係及び設計関係の消耗品を購入しました。 (2) 道路照明灯の電気料を支出しました。 (3) 公共用地価格審査会を4回開催しました。 (4) 土木積算システムのデータ作成を委託しました。 (5) 狭あい道路の幅員確保及び道路内の私有地解消のため、分筆等の登記業務を委託しました。 (6) 雨水貯留タンクの設置費の一部を補助しました。6件 (7) 各種協議会等の総会又は研修会に参加し、負担金を支出しました。 (8) 道路等に係る境界確認申請、占用許可申請、承認工事申請等の審査を865件行いました。		
		ア 境界確認申請 129件 イ 道路占用許可申請 363件 ウ 道路承認工事申請 73件 エ 河川占用許可申請 14件 オ 公共用物使用許可申請 61件 カ 公共用物承認工事申請 13件 キ 道路使用許可申請 65件 ク 特殊車両許可申請 107件 ケ 雨水浸水阻害行為許可申請 26件 コ 後退用地に関する事前協議 14件		

5	指 標 名	道路等の境界確認申請、占用許可申請、承認工事申請等の受理件数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
			平成30年度	707.00 件	個別計画による目標値はありません。	
	指 標 の 説 明 (指 標 式)		令和元年度	880.00 件		
			令和2年度	996.00 件		
			令和3年度	865.00 件		
6	直接事業費計	前年度決算額	7,057,509 円	決 算 額	23,921,790 円	

款	08	土木費	予 算 現 額	113,985,700 円
項	02	道路橋りょう費	決 算 額	112,755,748 円
目	01	道路維持費	前 年 度 決 算 額	128,481,398 円
			対 前 年 比	87.8 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	道路維持管理事業	コード	01	08	02	01	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基 本 施 策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1		誰のために(受益者)	道路を利用する人				
2		働きかける相手(対象)	道路				
3		どのような状態にしたいのか(意図)	道路の機能を適正に維持することにより、車両、歩行者等の通行の円滑化を図ります。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	道路維持管理事業 (1) 道路維持管理用消耗品を購入しました。 草刈り機替刃、チェーンソー替刃等 (2) 道路維持作業車の車検、タイヤ交換、修理を行いました。 (3) 工事等により変更された内容を道路台帳に反映し、一般公開(町HP掲載、窓口用パソコン設置)しました。 補正 5.77km、台帳製本 1部 (4) 道路の除草及び剪定を委託しました。 愛知池線外16路線 除草 9,292㎡ 芝生刈込 278㎡ 剪定(中高木) 516本 剪定(低木) 2,508㎡ (5) 道路損傷箇所等の維持修繕を行いました。 舗装工事 1,457.7㎡ 側溝工事 494.2㎡ (6) 道路補修用資材を購入しました。 コンクリート蓋、再生砕石、常温・加熱合材、セメント等					
5	活動指標	指標名	道路施設修繕、整備延長	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	m 2,396.90	m	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	m 2,749.00	m	
				令和2年度	m 2,802.00	m	
				令和3年度	m 3,004.80	m	
6	成果指標	指標名	工事発注件数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
				平成30年度	件数 45.00	件数 0.00	過去3年間の平均値
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	件数 35.00	件数 42.00	
				令和2年度	件数 39.00	件数 39.00	
				令和3年度	件数 25.00	件数 40.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	128,481,398	円	決 算 額	112,755,748	円

款	08	土木費	予 算 現 額	273,655,000 円
項	02	道路橋りょう費	決 算 額	229,143,046 円
目	02	道路新設改良費	前 年 度 決 算 額	132,723,943 円
			対 前 年 比	172.6 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	02	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基 本 施 策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)		道路を利用する人		
2 働きかける相手(対象)		道路		
3 どのような状態にしたいのか(意図)		地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工 事 ・ 路 線 名	藤坂・涼松2号線	榊池・東郷中央線	南蚊谷6号線
	工 事 期 間	令和元年度～令和6年度	令和2年度～令和4年度	平成29年度～令和3年度
	全 体 工 事 概 要	用地取得地権者 1名 取得面積 105.91㎡ (土地開発公社先行取得)	工事延長 L=774m	工事延長 L=125m 物件補償調査 土地評価 不動産鑑定評価 用地取得地権者 7名 物件移転補償対象 4名 取得面積 353.79㎡
	評価年度の実施内容	償還金支出 A=21.18㎡	工事延長 L=554m	工事延長 L=20m 境界杭復元 N=45箇所
	予定全体事業量[A]	105.91 ㎡	774.00 m	125.00 m
	評価年度までの事業量[Σa]	51.96 ㎡	634.00 m	125.00 m
	事業量の進捗率[Σa/A]	49.1 %	81.9 %	100.0 %
	予定全体直接事業費[B]	9,694,242 円	196,271,200 円	28,130,819 円
	評価年度までの直接事業費[Σb]	4,868,990 円	118,318,200 円	28,130,819 円
	事業費の進捗率[Σb/B]	50.2 %	60.3 %	100.0 %
	評価年度の事業量[a]	21.18 ㎡	554.00 m	125.00 m
	評価年度 of 直接事業費[b]	1,941,853 円	113,782,900 円	10,344,015 円
事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	91,683 円	205,384 円	82,752 円	
5 直接事業費計	前年度決算額	132,723,943 円	決 算 額	229,143,046 円

I. 事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	02	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人							
2	働きかける相手(対象)	道路							
3	どのような状態に したいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東郷・三好線						
		工事期間	令和2年度～令和3年度	～			～		
		全体工事概要	工事延長 L=150m						
		評価年度の実施内容	工事延長 L=150m						
		予定全体事業量[A]	150.00 m						
		評価年度までの 事業量[Σa]	150.00 m						
		事業量の進捗率 [Σa / A]	100.0 %			%		%	
		予定全体 直接事業費[B]	74,743,100 円			円		円	
		評価年度までの 直接事業費[Σb]	74,743,100 円			円		円	
		事業費の進捗率 [Σb / B]	100.0 %			%		%	
		評価年度の事業量[a]	150.00 m						
		評価年度の 直接事業費[b]	73,148,900 円			円		円	
		事業量1単位当たり 直接事業費[b/a]	487,659 円			円		円	
5	直接事業費計	前年度決算額	132,723,943 円	決算額	229,143,046 円				

款	08	土木費	予 算 現 額	3,226,000 円
項	02	道路橋りょう費	決 算 額	3,225,200 円
目	03	橋りょう維持費	前 年 度 決 算 額	54,882,300 円
			対 前 年 比	5.9 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	橋りょう維持管理事業	コード	01	08	02	03	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基 本 施 策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1		誰のために(受益者)	橋を利用する人				
2		働きかける相手(対象)	橋りょう施設				
3		どのような状態にしたいのか(意図)	橋の機能を適正に維持することにより、安全に通行できる状態を保ちます。				
4		評価対象年度にどのようなことを実施したのか	橋りょう維持管理事業 (1) 橋りょう定期点検業務を委託しました。 14橋(杉の木橋外13橋)				
5	活動指標	指標名	橋りょう補修に関する事業件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	件 2.00	件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	件 1.00	件	
				令和2年度	件 1.00	件	
				令和3年度	件 0.00	件	
6	成果指標	指標名	点検橋りょう面積	年 度	実 績 値	目 標 値	点検を必要とする橋りょう (5,545.9m2、86橋)を5年 に1度点検する。
				平成30年度	m2 892.70	m2 1,109.18	
		指標の説明 (指標式)	(点検を必要とする橋りょう面積(m2)／5)	令和元年度	m2 1,018.10	m2 1,109.18	
				令和2年度	m2 1,282.00	m2 1,109.18	
				令和3年度	m2 1,336.40	m2 1,109.18	
7		直接事業費計	前年度決算額	54,882,300 円	決 算 額		3,225,200 円

款	08	土木費	予 算 現 額	39,148,300 円
項	02	道路橋りょう費	決 算 額	20,892,300 円
目	04	交通安全対策事業費	前 年 度 決 算 額	34,240,690 円
			対 前 年 比	61 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	交通安全施設対策事業	コード	01	08	02	04	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基 本 施 策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	② 交通安全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	道路を利用する人				
2	働きかける相手（対象）	道路				
3	どのような状態にしたいのか（意図）	道路を利用する人及び車両の安全を確保し、通行の円滑化を図ります。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 交通安全対策一般事務事業 高嶺小学校区で交通安全総点検を実施しました。 2 交通安全施設整備事業 交通安全施設工事を実施しました。 (1) 区画線 2,475.3m (2) 防護柵 47.0m (3) 道路反射鏡（立替・修繕） 3基 (4) 道路照明灯（新設・灯具取替） 8基 (5) カラー舗装 97m				
5	活動指標	指 標 名	区画線、防護柵等施工延長	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値
				平成30年度	m 3,733.10	個別計画による目標値はありません。
		指 標 の 説 明 （ 指 標 式 ）		令和元年度	m 2,392.50	
				令和2年度	m 4,825.00	
				令和3年度	m 2,522.30	
6	成果指標	指 標 名	交通安全施設整備箇所数	年 度	実 績 値	目 標 値
				平成30年度	箇所 80.00	箇所 74.00
		指 標 の 説 明 （ 指 標 式 ）	区画線、防護柵、反射鏡等の設置箇所数（路線・交差点）	令和元年度	箇所 88.00	箇所 82.00
				令和2年度	箇所 189.00	箇所 105.00
				令和3年度	箇所 46.00	箇所 119.00
7	直接事業費計	前年度決算額	34,240,690 円	決 算 額	20,892,300 円	

款	08	土木費	予 算 現 額	25,613,000 円
項	03	河川費	決 算 額	20,296,200 円
目	01	河川維持改修費	前 年 度 決 算 額	14,946,800 円
			対 前 年 比	135.8 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	河川等維持管理事業	コード	01	08	03	01	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基 本 施 策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	① 災害に強い都市基盤の整備						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民					
2	働きかける相手(対象)	河川及び排水路					
3	どのような状態にしたいのか(意図)	河川等の施設を適正に維持することにより、通水能力の保持及び景観を良好な状態にします。					
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	河川等維持管理事業 (1) 河川等の維持修繕工事及び浚渫工事を実施しました。 修繕工事 430.1m 浚渫工事 363.4m (2) 河川の除草及び剪定を委託しました。 ア 春木川 堤防除草 9,890㎡×2回 護岸除草 4,575㎡×1回 低木剪定工 127㎡×1回 イ 西の川 堤防除草 3,073㎡×2回 ウ 小口川 堤防除草 2,784㎡×2回 7,311㎡×1回 護岸除草 4,156㎡×1回					
5	活動指標	指標名	施設の維持管理作業の延べ面積	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等による目標値	
				平成30年度	35,777.00㎡	㎡ 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	除草、剪定作業	令和元年度	35,777.00㎡	㎡	
				令和2年度	40,730.00㎡	㎡	
				令和3年度	47,663.00㎡	㎡	
6	成果指標	指標名	通水阻害部分の解消箇所	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法
				平成30年度	箇所 6.00	箇所 9.00	過去3年間の平均値
		指標の説明 (指標式)	排水路浚渫箇所、排水路整備箇所	令和元年度	箇所 8.00	箇所 8.00	
				令和2年度	箇所 11.00	箇所 7.00	
				令和3年度	箇所 10.00	箇所 8.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	14,946,800 円	決 算 額	20,296,200 円		

款	08	土木費	予 算 現 額	45,188,000 円
項	04	都市計画費	決 算 額	40,117,648 円
目	01	都市計画総務費	前 年 度 決 算 額	70,792,411 円
			対 前 年 比	56.7 %

I. 事務の目的体系

1	事 業 名	都市計画一般管理事業	コード	01	08	04	01	02	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基 本 施 策	03 魅力ある市街地を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1		誰のために(受益者)	町民及び窓口サービス利用者				
2		働きかける相手(対象)	町職員、関係機関、愛知県都市計画協会及び愛知県街路事業促進協議会				
3		どのような状態にしたいのか(意図)	内部事務を適切かつ効率的に処理し、関係課及び関係機関との連絡調整を行い、都市計画事業を円滑に運営します。				
4	都市計画関係一般事務事業 (1) 地区計画の区域内における行為の届出 審査件数 83件 (2) 都市計画基本図のコピー、都市計画図等の販売 件数 470件 (3) 愛知県都市計画協会負担金を支出し、都市計画の調査研究に努めました。 (4) 愛知県街路事業促進協議会負担金を支出し、未整備区間のある都市計画道路整備に関する要望、陳情等を実施しました。						
5	活動指標	指標名	都市計画基本図のコピー及び都市計画図売払件数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
				平成30年度	件 539.00	件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	件 519.00	件		
			令和2年度	件 486.00	件		
			令和3年度	件 470.00	件		
6	直接事業費計	前年度決算額	93,544 円	決 算 額		115,608 円	

I. 事業の目的体系

1	事業名	都市計画調査決定事業	コード	01	08	04	01	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	03 魅力ある市街地を整備する						
		施策の展開方向	② 秩序あるまちの形成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び町内に土地、家屋等を所有する人
2	働きかける相手(対象)	関係機関職員、町都市計画審議会委員、地区まちづくり団体及び町民
3	どのような状態に したいのか(意図)	健全で秩序あるまちづくりを目指し、土地利用のあり方や道路・公園の整備等について計画を策定することにより、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを誘導します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 都市計画調査決定事業 都市計画基礎調査 5年サイクルの1年目として、町で実施する調査項目として次の2項目を実施しました。 (1) 調査区の設定 (2) 人口及び世帯規模の調査 2 都市計画審議会 審議会に諮る案件がなかったため、実績はありません。				
---	-----------------------	--	--	--	--	--

5	指 標 名	会議への出席回数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
			平成30年度	回 11.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指 標 の 説 明 (指 標 式)	都市計画関係の会議への出席回数	令和元年度	回 7.00	回	
			令和2年度	回 3.00	回	
			令和3年度	回 2.00	回	
6	指 標 名	愛知県都市計画基礎調査委託業務項目数	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法 愛知県都市計画基礎調査における調査項目数
			平成30年度	項目 1.00	項目 1.00	
	指 標 の 説 明 (指 標 式)	愛知県都市計画基礎調査における町で実施した調査項目数	令和元年度	項目 2.00	項目 2.00	
			令和2年度	項目 0.00	項目 0.00	
			令和3年度	項目 2.00	項目 2.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	14,493,263 円	決 算 額	1,204,600 円	

I. 事業の目的体系

1	事業名	建築指導事業	コード	01	08	04	01	04	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	04 良好な住環境をつくる						
		施策の展開方向	① 市街地の住環境の向上						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び町内に土地、家屋等を所有する人					
2	働きかける相手(対象)	宅地造成事業及び住宅等建設事業を施行する人					
3	どのような状態にしたいのか(意図)	秩序あるまちづくりを図るとともに、町民の快適な生活環境の確保に努めます。					
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	建築確認関係事業 (1) 都市計画法、宅地造成等規制法、建築基準法等の許認可申請の受付事務 ア 開発行為許可申請 23件 イ 建築物の新築等許可申請 19件 ウ 宅地造成に関する工事の許可申請 9件 エ 建設リサイクル届 102件 (2) 屋外広告物に関する事務 ア 許可申請 23件 イ 違反広告物の簡易除却 0件(月1回町内巡回) (3) 宅地開発、建築事業計画の指導事務 ア 開発行為及び土地利用の調整に関する条例に基づく事前協議の審査事務を行いました。(30件) イ 建築基準法道路の指定状況の問い合わせの際に使用する地図を更新しました。 (4) 建築指導 愛知県尾張建設事務所の担当職員と建築に関する相談、検査等を実施しました。(94件) (5) 空き家対策事務 ア 被相続人居住者家屋等確認書を交付しました。(7件) イ 空き家の疑いのある建物の所有者へ適正管理を依頼する文書を送付しました。(20件)					
5	活動指標	指標名	会議への出席回数	年 度	実 績 値	個 別 計 画	指 針 等 による目標値
				平成30年度	回 11.00	回	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	建築指導事業関係の会議への出席回数	令和元年度	回 7.00	回	
				令和2年度	回 8.00	回	
				令和3年度	回 8.00	回	
6	成果指標	指標名	許認可受付件数	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法
				平成30年度	件 197.00	件 155.00	実績値の直近3年の平均値
		指標の説明 (指標式)	許認可申請等の受付処理件数	令和元年度	件 178.00	件 179.00	
				令和2年度	件 217.00	件 189.00	
				令和3年度	件 206.00	件 198.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	1,055,351 円	決 算 額	1,154,893 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	耐震化促進事業	コード	01	08	04	01	05	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	① 災害に強い都市基盤の整備						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	地域住民					
2	働きかける相手(対象)	旧耐震基準の家屋を所有する者					
3	どのような状態にしたいのか(意図)	災害に強い街づくりを図るとともに、町民の安全な生活環境の確保に努めます。					
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	耐震化促進事業 (1) 民間木造住宅耐震診断(無料)を実施しました。(10件) (2) 民間木造住宅耐震改修費の補助を実施しました。(2件) (3) 民間木造住宅耐震除却費の補助を実施しました。(1件) (4) 民間ブロック塀等撤去費の補助を実施しました。(7件) (5) 東郷町耐震改修促進計画-2030-に基づき、和合ヶ丘地区において耐震診断ローラー作戦(旧耐震基準の木造住宅の所有者に対し、無料耐震診断を個別に案内)を実施しました。(対象153件) (6) 大規模盛土造成地変動予測調査を実施し、町内の大規模盛土造成地に係る第2次スクリーニング計画を策定しました。					
5	活動指標	指標名	木造住宅耐震診断の件数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
				平成30年度	件 26.00	件 23.00	過去3年間の実績値の平均
		指標の説明 (指標式)	旧耐震基準の民間木造住宅 に対し町の無料耐震診断を 実施した件数	令和元年度	件 8.00	件 25.00	
				令和2年度	件 8.00	件 20.00	
				令和3年度	件 10.00	件 14.00	
6	成果指標	指標名	木造住宅耐震改修補助の件数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
				平成30年度	件 4.00	件 5.00	
		指標の説明 (指標式)	旧耐震基準の民間木造住宅 の耐震改修工事に対して補 助金を交付した件数	令和元年度	件 1.00	件 3.00	
				令和2年度	件 2.00	件 3.00	
				令和3年度	件 2.00	件 2.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	10,289,600 円		決 算 額	9,261,200 円	

款	08	土木費	予 算 現 額	215,796,000 円
項	04	都市計画費	決 算 額	214,059,635 円
目	02	公園緑地費	前 年 度 決 算 額	103,297,113 円
			対 前 年 比	207.2 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	公園緑地等維持管理事業	コード	01	08	04	02	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基 本 施 策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	③ 公園・緑地の整備						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	公園利用者
2	働きかける相手(対象)	公園施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公園施設を適正に維持管理することにより、町民に安全で、かつ、快適な憩いの場を提供します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 都市公園緑地維持管理事業 (1) 公園、緑地の維持管理を次のとおり実施しました。 ア 都市公園・緑地 36か所 イ 親水公園、ふれあい広場 3か所 ウ 児童遊園 8か所 エ ちびっこ広場 9か所 オ その他公園・緑地 30か所 (2) 定期的な維持管理として、除草、園内のゴミ清掃、トイレ清掃、浄化槽の保守点検、遊具の安全点検等を行いました。 (3) 電気及び上下水道の使用料、うしばさん公園を始め5公園の用地借地料を支払いました。 (4) 遊具、水のみ場等の公園施設は、老朽した部分又はいたずらによる破損箇所などの修繕を行いました。 (5) 交通児童遊園は地元老人クラブ、涼松緑道は愛知豊川用水振興協会、ふれあい広場及び柵池親水公園は指定管理者により施設の維持管理を行いました。 (6) 公園愛護会20団体(複数の公園で活動する団体があります。)に報償金を支払い、22か所の公園の愛護活動を行っていただきました。 2 公園緑地管理一般事務事業 例年参加している県が実施する公園緑地行政研究会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。
---	-----------------------	---

5	指 標 名	維持管理した都市公園、緑地等の面積 (ha)	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
			平成30年度	ha 28.46	ha	個別計画による目標値はありません。
	指 標 の 説 明 (指 標 式)	都市計画公園・緑地等計86か所	令和元年度	ha 28.46	ha	
			令和2年度	ha 28.46	ha	
			令和3年度	ha 28.76	ha	
6	指 標 名	管理公園における苦情要望等の1件当たりの面積 (㎡/件)	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法 過去3年間の実績値の平均値
			平成30年度	㎡/件 6,618.00	㎡/件 3,780.00	
	指 標 の 説 明 (指 標 式)	維持管理公園面積 [28.76ha] ÷ (要望+苦情件数) [64件] ※値が大きいほど適正に管理されている。	令和元年度	㎡/件 4,992.00	㎡/件 4,740.00	
			令和2年度	㎡/件 4,185.00	㎡/件 5,352.00	
			令和3年度	㎡/件 4,493.00	㎡/件 5,265.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	82,575,622 円	決 算 額	99,745,035 円	

I. 事業の目的体系

1	事業名	公園緑地築造事業	コード	01	08	04	02	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	③ 公園・緑地の整備						

II. (Do)建設事業の内容

1		誰のために(受益者)	地域住民及び公園利用者			
2		働きかける相手(対象)	公園施設等			
3		どのような状態にしたいのか(意図)	地区住民の利用に供する身近な公園を整備することで、良好な居住環境の形成を図ります。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工 事 ・ 路 線 名	上城さくら公園築造工事	上鏡田公園築造工事		
		工 事 期 間	令和2年度～令和3年度	令和2年度～令和4年度	～	
		全 体 工 事 概 要	公園築造工事 A=3,000㎡	公園築造工事 A=5,500㎡		
		評価年度の実施内容	公園築造工事 A=3,000㎡			
		予定全体事業量[A]	3,000.00 m ²	5,500.00 m ²	m ²	
		評価年度までの事業量[Σa]	3,000.00 m ²	0.00 m ²	m ²	
		事業量の進捗率[Σa/A]	100.0 %	0.0 %	%	
		予定全体直接事業費[B]	117,538,410 円	260,576,000 円	円	
		評価年度までの直接事業費[Σb]	117,538,410 円	6,270,000 円	円	
		事業費の進捗率[Σb/B]	100.0 %	2.4 %	%	
		評価年度の事業量[a]	3,000.00 m ²	0.00 m ²	m ²	
		評価年度の直接事業費[b]	112,294,600 円	0 円	円	
	事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	37,432 円	0 円	円		
5		直接事業費計	前年度決算額	13,879,491 円	決 算 額	112,294,600 円

I. 事業の目的体系

1	事業名	緑化振興事業	コード	01	08	04	02	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	④ 緑化の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民					
2 働きかける相手(対象)		町民（文化産業まつり参加者、小中学校、自治会）					
3 どのような状態にしたいのか(意図)		地域における緑化の推進や一般家庭の緑化を促進することにより、町民の緑化に対する意識の向上が図られるようにします。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 緑化振興事業 例年参加を予定しておりました愛知県植樹祭は新型コロナウイルス感染症の影響により縮小開催となり、本町への出席依頼はありませんでした。						
	2 緑化事業						
	(1) 緑化木配布事業として予定していた文化産業まつりが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、緑化木配布事業も中止となりました。						
	(2) 愛知県緑化推進委員会に会費を支出しました。						
	(3) 緑の募金委員会の運営						
	ア 春期緑の募金運動を令和3年4月1日から令和3年7月31日まで実施しました。						
	募金総額 284,283円						
	イ 自治会等19団体へ花壇整備等の緑化推進事業に対し助成金を交付しました。						
	(4) 都市緑化推進事業として、民有地の緑化に対し2件補助金を交付しました。						
5 活動指標	指標名	緑化木配布本数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値		
			平成30年度	本 320.00	本	個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 (指標式)	緑化木配布事業で配布した本数	令和元年度	本 320.00	本		
			令和2年度	本 0.00	本		
			令和3年度	本 0.00	本		
6 成果指標	指標名	町人口100人当たりの募金額	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法 過去3年間の実績値の平均	
			平成30年度	円 662.00	円 702.00		
	指標の説明 (指標式)	募金総額÷人口×100人 人口=43,944人（令和3年7月末時点）	令和元年度	円 561.00	円 721.00		
			令和2年度	円 555.00	円 637.00		
			令和3年度	円 646.00	円 592.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	6,842,000 円		決 算 額	2,020,000 円		

款	08	土木費	予 算 現 額	272,201,000 円
項	04	都市計画費	決 算 額	232,562,943 円
目	03	開発事業費	前 年 度 決 算 額	416,579,083 円
			対 前 年 比	55.8 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	開発推進事業	コード	01	08	04	03	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	03 魅力ある市街地を整備する						
		施策の展開方向	① まちの顔となる都市拠点の形成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者				
2	働きかける相手(対象)	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者				
3	どのような状態にしたいのか(意図)	経済動向に左右されることなく、時代の変化に合わせた実現性の高い土地利用を展開し、地区を一体的に整備することにより、快適で活気あふれるまちになるようにします。また、集約型都市構造への転換を目指し、魅力ある「まちの中心核」の形成を図ります。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 開発事業一般事務事業 (1) 愛知県土地区画整理組合連合会の研修会等へ1回参加しました。 (2) 尾東土地区画整理事務研究協議会の研修会等に3回参加しました。 (3) 公益財団法人愛知県都市整備協会の研修会等に2回参加しました。 (4) まちづくりを円滑に推進するため、県等関係機関との連絡・調整を行うとともに、まちづくりに関する相談に対応しました。 (5) 土地区画整理事業地内の建築行為に係る土地区画整理法第76条に基づく許可事務を行いました。 2 東郷町まちづくり推進事業 (1) 土地区画整理事業への技術的支援 ア 東郷中央土地区画整理事業 (ア) 組合が開催する総代会、役員会、委員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。 (イ) 組合が発注する工事等の設計・積算等に対し指導を行いました。 イ 東郷和合知々釜土地区画整理事業 組合が開催する総会、役員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。 (2) 社会資本整備総合交付金事業 ア 都市計画道路建設負担金 東郷中央土地区画整理組合が施工する都市計画道路名古屋春木線に係る補助金の一部を負担しました。 負担額 24,787,500円(町負担割合 2.5/10) イ 東郷町土地区画整理事業助成金 同要綱に基づき、東郷中央土地区画整理組合に対し助成しました。 助成額 159,344,000円(翌年度繰越額 39,067,200円) (3) 東郷町エコまちづくり計画の推進 本計画を推進するため、計画に掲げる導入メニューの実現に向けた調査・検討を行うとともに、計画の進捗管理を行いました。				
5	活動指標	指標名	東郷中央土地区画整理組合の各種会議への出席回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
				平成30年度	回 56.00	回 個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	東郷中央土地区画整理組合が開催した各種会議や説明会等への町職員の出席回数	令和元年度	回 51.00	回
				令和2年度	回 49.00	回
				令和3年度	回 44.00	回
6	成果指標	指標名	事業進捗率	年 度	実 績 値	目 標 値
				平成30年度	% 56.00	% 48.44
		指標の説明 (指標式)	東郷中央土地区画整理事業の事業進捗率 累積事業費／総事業費×100	令和元年度	% 77.70	% 66.99
				令和2年度	% 86.80	% 84.03
				令和3年度	% 93.40	% 92.05
7	直接事業費計	前年度決算額	392,938,744 円	決 算 額	184,218,429 円	

款	08	土木費	予 算 現 額	437,249,000 円
項	05	下水道費	決 算 額	437,249,000 円
目	01	下水道整備費	前 年 度 決 算 額	442,751,000 円
			対 前 年 比	98.8 %

I. 事務の目的体系

1	事 業 名	下水道事業会計繰出金事業	コード	01	08	05	01	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基 本 施 策	04 良好な住環境をつくる						
		施策の展開方向	② 下水道の整備・維持管理						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	公共下水道区域内の町民
2	働きかける相手（対象）	下水道事業会計
3	どのような状態にしたいのか（意図）	東郷町下水道事業会計の健全な財政運営を確保し、下水道事業を計画どおり進めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	下水道事業会計繰出金 下水道事業費の財源について、当該事業に充てられる国庫補助金、企業債、受益者負担金、下水道使用料及び雑収益以外の財源を一般会計から繰り出しました。							
---	-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

5	指 標 名	繰出金額	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
			平成30年度	円 466,712,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
	指 標 の 説 明 (指 標 式)		令和元年度	円 444,363,000.00	円	
			令和2年度	円 442,751,000.00	円	
			令和3年度	円 437,249,000.00	円	
6	直接事業費計	前年度決算額	442,751,000 円	決 算 額	437,249,000 円	

款	09	消防費	予 算 現 額	548,833,000 円
項	01	消防費	決 算 額	548,833,000 円
目	01	常備消防費	前 年 度 決 算 額	542,280,000 円
			対 前 年 比	101.2 %

I. 事務の目的体系

1	事 業 名	尾三消防組合負担金事業	コード	01	09	01	01	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基 本 施 策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民、事業所、町内一時滞在者							
2	働きかける相手(対象)	尾三消防組合							
3	どのような状態にしたいのか(意図)	消防・救急等の消防力の強化を図り、町民の生命、身体及び財産を守ります。							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	尾三消防組合負担金事業 尾三消防組合に対し、負担金を支出しました。							
5	指 標 名	尾三消防組合負担金額	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値				
活動指標	指標の説明 (指標式)		平成30年度	千円 539,766.00	千円	個別計画による目標値はありません。			
			令和元年度	千円 533,093.00	千円				
			令和2年度	千円 542,280.00	千円				
			令和3年度	千円 548,833.00	千円				
6	直接事業費計	前年度決算額	542,280,000 円	決 算 額	548,833,000 円				

款	09	消防費	予 算 現 額	56,637,000 円
項	01	消防費	決 算 額	51,090,023 円
目	02	非常備消防費	前 年 度 決 算 額	15,266,843 円
			対 前 年 比	334.6 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	消防団運営事業	コード	01	09	01	02	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	各種災害の被災者							
2	働きかける相手(対象)	消防団員							
3	どのような状態に したいのか(意図)	消防団員の資質及び機動力の向上を図るとともに、団員を確保し、地域における防災体制を整えます。							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 消防団運営事業 (1) 東郷町消防団の組織(令和3年4月1日現在) ア 団長 1名、副団長 2名 イ 分団員数 (ア) 諸輪分団 24名 (イ) 和合分団 16名 (ウ) 傍示本分団 25名 (エ) 祐福寺分団 17名 (イ) 部田分団 15名 (カ) 白土分団 14名 計111名(団長・副団長を含まない。) (2) 会議、研修会等 ア 正副分団長会議を年9回開催し、活動内容の確認、出勤状況及び情報交換を実施しました。 イ 例年開催していた役員県外研修については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止としました。 (3) 各種訓練、点検活動等 ア 4月11日 基本訓練 参加団員30名 イ 6月6日 水防訓練 参加団員25名、役場職員36名 ウ 10月17日 尾三消防連絡協議会合同訓練 参加団員16名 エ 11月21日 避難所開設訓練 参加団員16名 オ 12月27日～30日 年末特別警戒(地区全域) カ 1月4日 出初式 参加団員4名 キ 毎月1回 無線試験、放水訓練及び資機材等点検 ク 5月～7月 消防水利点検 ケ 9月～10月 消防用ホース耐圧試験、 コ 「文化財防火訓練」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止しました。 (4) 火災風水害等に伴う出動 4件 23名 家屋火災等に伴う出動 (5) その他の活動等 各地区で開催された防災訓練に参加しました。 2 町消防操法大会・県消防操法大会運営事業 町消防操法大会・県消防操法大会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止しました。 3 消防団詰所建替事業 (1) 傍示本分団詰所の建替え工事を実施しました。 (2) 和合分団詰所の新築及び解体詳細設計を実施しました。							
5	活動指標 (指標式)	各種訓練実施回数(基本訓練、操法訓練、水防訓練、文化財防火訓練、林野火災訓練)	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値				
			平成30年度	回 5.00	回	個別計画による目標値はありません。			
			令和元年度	回 4.00	回				
			令和2年度	回 1.00	回				
			令和3年度	回 4.00	回				
6	成果指標 (指標式)	基本訓練参加率	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法 過去3年間の最高値			
			平成30年度	% 25.20	% 28.38				
			令和元年度	% 29.03	% 28.38				
			令和2年度	% 0.00	% 29.03				
			令和3年度	% 26.32	% 29.03				
7	直接事業費計	前年度決算額	14,688,843 円	決 算 額	50,537,623 円				

I. 事業の目的体系

1	事業名	女性防災クラブ運営事業	コード	01	09	01	02	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民					
2	働きかける相手(対象)	女性防災クラブ会員					
3	どのような状態にしたいのか(意図)	防災に関する基礎知識を身につけ、自主防災組織と連携し地域や家庭内から防災意識を向上させることで災害時に迅速、適切な対応ができるようにします。					
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	女性防災クラブ運営事業 (1) 東郷町女性防災クラブの組織(令和3年4月1日現在) ア 会長 1名、副会長 2名 イ 支部会員数 (7) 諸輪支部 15名 (イ) 和合支部 20名 (ウ) 傍示本支部 19名 (エ) 祐福寺支部 20名 (オ) 部田支部 16名 (カ) 白土支部 15名 (キ) 和合ヶ丘支部 15名 (ク) 春木台支部 21名 (ケ) 北山台支部 8名 (コ) 部田山支部 15名 計164名(正副会長含む。) (2) 会議、研修会等 ア 正副会長及び正副支部長の役員会を年4回開催し、活動内容の確認、情報交換等を実施しました。 イ 役員研修会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止としました。 (3) 訓練、講習会等 ア 5月～7月 消防水利点検(地区及び消防団と合同で実施) イ 10月～11月 普通救命講習 130名参加 ウ 例年実施している「炊き出し訓練(水防訓練)」、「総合防災訓練」及び「消防出初観閲式」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、規模縮小又は中止としたため、女性防災クラブは不参加としました。 (4) その他の活動等 各地区で開催された防災訓練に参加協力しました。 (5) 女性防災クラブの各支部運営活動費として助成金を交付しました。					
5	活動指標	指標名	防災技術取得事業実施回数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 による 目 標 値	
				平成30年度	回 1.00	回 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	防災技術取得事業(普通救命講習)	令和元年度	回 1.00	回	
				令和2年度	回 1.00	回	
				令和3年度	回 1.00	回	
6	成果指標	指標名	普通救命講習受講者率	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法 会員全員の参加を目標としました。(2年に1回受講)
				平成30年度	% 98.17	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)	普通救命講習受講者数人数÷クラブ会員総数×100	令和元年度	% 99.40	% 100.00	
				令和2年度	% 99.00	% 100.00	
				令和3年度	% 79.27	% 100.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	578,000 円	決 算 額	552,400 円		

款	09	消防費	予 算 現 額	4,850,000 円
項	01	消防費	決 算 額	3,431,637 円
目	03	消防施設費	前 年 度 決 算 額	9,743,460 円
			対 前 年 比	35.2 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	消防水利設置管理事業	コード	01	09	01	03	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		被災者					
2 働きかける相手(対象)		消防水利					
3 どのような状態にしたいのか(意図)		耐震性貯水槽、消火栓を整備、維持管理して消防力を強化します。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 消防水利設置事業 (1) 防火水槽並びに消火栓(地下式、地上式)の新設、移設及び撤去を実施しました。 (2) 消防水利標識の設置及び消防水利標示の塗装を実施しました。 (3) 格納箱の交換を実施しました。						
	2 消火栓維持管理事業 (1) 消火栓(471基分)の維持管理負担金を愛知中部水道企業団へ支出しました。(令和3年10月時点) (2) 備品を購入しました。(格納庫一式、スピンドル5本)						
	【参考】 消防水利の状況(令和4年3月末現在)						
	防火水槽 蓋有 120基(うち耐震性貯水槽 23基) 蓋無 7基 ブール 10か所						
	消火栓 65ミリ地下式 287基 65ミリ地上式 7基 40ミリ地下式 2基 40ミリ地上式 177基(格納箱併設 筒先1個・40ミリホース2本・金具1個) 計 610基(所)						
5 活動指標	指標名	消防水利整備基数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値		
			平成30年度	基 0.00	基 個別計画による目標値はありません。		
	指標の説明 (指標式)	耐震性貯水槽設置数+防火水槽蓋設置数+消火栓設置数+消防水利修繕数	令和元年度	基 2.00	基		
			令和2年度	基 2.00	基		
			令和3年度	基 3.00	基		
6 成果指標	指標名	消防水利の総数(池、河川含まず。)	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法	
			平成30年度	基 603.00	基 606.00	前年度末設置数	
	指標の説明 (指標式)		令和元年度	基 605.00	基 603.00		
			令和2年度	基 608.00	基 605.00		
			令和3年度	基 610.00	基 608.00		
	7 直接事業費計	前年度決算額	9,743,460 円	決 算 額	3,431,637 円		

款	09	消防費	予 算 現 額	1,793,000 円
項	01	消防費	決 算 額	1,029,054 円
目	04	防災啓発費	前 年 度 決 算 額	1,033,858 円
			対 前 年 比	99.5 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	防災啓発事業	コード	01	09	01	04	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基 本 施 策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	② 地域の安全・安心の強化						

II. (Do)一般事業の内容

1		誰のために(受益者)	町民						
2		働きかける相手(対象)	自主防災組織、町民						
3		どのような状態にしたいのか(意図)	各自主防災組織を中心に災害時の緊急対応力を強化するとともに、町民の防災意識を高めます。						
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	防災啓発事業 自主防災組織の育成及び防災訓練などの各種活動を支援しました。 (1) 自主防災組織の数 17団体 (2) 自主防災組織等の活動 各地区及び自主防災組織の9団体において、年1回程度、初期消火、避難、情報伝達などの防災訓練を実施しました。 (3) 自主防災組織活動助成金 自主防災組織の活動に対する助成金を9地区に交付しました。 各50,000円 計450,000円 (4) 賞味期限が1年未満となった備蓄食料を防災啓発品として、地区の防災訓練に利用するため、アルファ米(5,750食)、クラッカー(2,900食)を配布しました。 (5) 家具転倒防止器具取付事業として、65歳以上の高齢者のみの世帯等に対して、家具の転倒を防止するため、金具の取付を行いました。(申請世帯数2世帯) (6) 防災ラジオ等貸与事業として、ひとり暮らしの高齢者に地震災害等の発生時において、瞬時に地震発生情報を伝達するため、防災ラジオの貸与を行いました。(申請世帯数1世帯) (7) 避難所開設訓練 感染症が発生している状況下において、避難所の受付方法など職員の避難所開設体制を確認し、災害発生時の円滑な避難所開設を行うことができるよう実施しました。(11月21日東郷中学校で実施)(101名参加)							
		5	活動指標	指標名	自主防災組織数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
						平成30年度	地区 17.00	地区	個別計画による目標値はありません。
				指標の説明 (指標式)		令和元年度	地区 17.00	地区	
						令和2年度	地区 17.00	地区	
						令和3年度	地区 17.00	地区	
		6	成果指標	指標名	防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法
						平成30年度	件 17.00	件 17.00	訓練実施地区を17地区全部としました。
				指標の説明 (指標式)		令和元年度	件 17.00	件 17.00	
						令和2年度	件 10.00	件 17.00	
	令和3年度				件 9.00	件 17.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	1,033,858 円	決 算 額	1,029,054 円				

款	09	消防費	予 算 現 額	23,106,568 円
項	01	消防費	決 算 額	19,746,336 円
目	05	災害対策費	前 年 度 決 算 額	26,637,877 円
			対 前 年 比	74.1 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	災害対策事業	コード	01	09	01	05	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		被災者					
2 働きかける相手(対象)		町民、職員、防災資機材					
3 どのような状態にしたいのか(意図)		防災計画に基づく職員非常配備体制を整えるとともに、災害時の備蓄品、災害用資機材を充実します。					
評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 災害対策職員給与関係事業 非常配備体制実績なし。						
	2 災害対策事業 (1) 災害用備蓄品を購入し、防災倉庫において備蓄しました。 飲料水(2Lペットボトル)1,470本、飲料水(500mlペットボトル)192本、ライスクッキー2,376食、アルファ米(わかめ・山菜おこわ・田舎ごはん・梅がゆ)計4,200食、粉ミルク(アレルギー対応800g)56缶、液体ミルク(240ml)24缶 (2) 3月に東郷町防災会議を書面会議で開催し、地域防災計画を見直しました。 (3) 災害発生時に住民支援や復旧活動を迅速に行えるよう、民間事業所と災害時における協定を締結しました。(14事業所)						
	3 防災無線整備事業 全国瞬時警報システム(J-ALERT)の保守点検を7月に実施しました。						
	4 職員訓練等 (1) メール参集訓練を災害発生時の円滑な参集を目指すことを目的として実施しました。(令和3年6月5日、参加人数180名) (2) 災害発生時における職員の初動体制の確認及び課題の抽出を目的に「地震災害対策初動訓練」を実施しました。(令和4年2月9日、参加職員7名) (3) 災害発生時に使用するチェーンソーの取扱い技術、危険予知及び安全管理知識の向上を図るため、「チェーンソー取扱訓練」を実施しました。(年3回実施、参加職員35名)						
	5 活動指標	指標名	災害対策本部設置回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	回 5.00	回	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	回 1.00	回	
				令和2年度	回 1.00	回	
				令和3年度	回 0.00	回	
	6 成果指標	指標名	備蓄整備計画に基づき町で確保する非常備蓄食糧数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成30年度	食 19,650.00	食 18,400.00	H27～過去地震最大モデルによる想定避難者数(1日目600人、2、3日目4,300人)×2食	
指標の説明 (指標式)			令和元年度	食 19,650.00	食 18,400.00		
			令和2年度	食 19,650.00	食 18,400.00		
			令和3年度	食 19,650.00	食 18,400.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	14,767,883	円	決 算 額	14,511,662 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	09	01	05	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、職員、感染症対策資機材
3	どのような状態に したいのか(意図)	職員を中心に感染症発生時の災害対応力を強化するとともに、災害発生時の避難所内での感染症防止対策を適切に対応できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	新型コロナウイルス感染症対策事業 (1) 感染症対策資機材を購入し、防災倉庫に備蓄しました。 PCR検査キット3,100個、抗原検査デバイス530個他 (2) 感染症対策資機材を購入し、庁舎内の感染防止対策を行いました。 手指消毒液、スプレーボトル、ペーパータオル他 (3) 感染症の対策を実施しました。 ア 対策本部会議 令和3年4月12日～令和4年3月30日までの間に30回の新型コロナウイルス感染症等対策本部会議を実施し、本町の感染症への対応、町民への感染症感染予防の意識啓発などを決定しました。 イ 周知啓発方法について 広報紙、町広報車、地域安心メール、Twitter、町HPで町民へ向け感染症に係る啓発を行いました。							
---	-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

5	指 標 名	対策本部開催回数	年 度	実 績 値	個 別 計 画、指 針 等 に よ る 目 標 値	
			平成30年度	回	回	個別計画による指標はありません。
	指 標 の 説 明 (指 標 式)		令和元年度	回	回	
			令和2年度	回 51.00	回	
			令和3年度	回 30.00	回	
6	指 標 名	感染症対策資機材を備蓄する指定避難所数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 主要な避難所である小中学校9校全てへの備蓄を目標としました。
			平成30年度	校	校	
	指 標 の 説 明 (指 標 式)	令和元年度	校	校		
		令和2年度	校 9.00	校 9.00		
		令和3年度	校 9.00	校 9.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	11,869,994 円	決 算 額	5,234,674 円	